

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587036901	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (教育相談)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷口 弘一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷口 弘一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	谷口 弘一		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	taniguti@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館215番研究室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	毎週金曜日 15:00 ~ 16:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	カウンセリングとソーシャルサポートを有機的に結びつけ、効果的な援助を提供する方法について理解すること。		
授業到達目標 / Goal	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる( , , , , , )。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようになる( , , , , , )。		
授業方法 (学習指導法) / Method	主として、講義形式(視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用)で行う予定にしているが、心理アセスメントやグループワークなどを可能な限り多く取り入れ、アクティブラーニング形式となるようにしたいと考えている。		
授業内容 / Class outline / Con	授業内容(概要) 心理的な悩みや困難を抱えた人に対する援助には、カウンセラーなど専門家によるサポートと親密な他者など非専門家によるサポートの二つが存在する。本講義では、カウンセリングとソーシャルサポートの理論、学校・家庭場面におけるカウンセリングとサポートの実践、カウンセリングとサポートの効果を抑制する要因などについて解説する。		
キーワード / Key word	カウンセリング, 心理アセスメント, ソーシャルサポート, グループワーク		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	カウンセリングとソーシャルサポート - つながり支えあう心理学 - ナカニシヤ出版		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験50% 発表・討論・実習への貢献30% 課題レポート20% この他に、授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。 合格基準は全体評価の60%以上		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業外学習 (週平均約2時間)		
学生へのメッセージ / Message for students	可能な限りアクティブラーニング形式となるようにしたいと考えているので、学生諸君の積極的な授業参加を期待している。 予習・復習では、教科書はもとより、新聞、インターネット、専門書、学術論文など多くの情報源に当たって、講義内容に関する理解をさらに深めてほしい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	カウンセリングとは何か: 定義・歴史・効用		
第3回	カウンセリングとパーソナリティ		
第4回	カウンセリングの理論と技法(1): クライアント中心療法		
第5回	カウンセリングの理論と技法(2): 行動療法		
第6回	カウンセリングの理論と技法(3): 認知行動療法		
第7回	カウンセリングの理論と技法(4): 精神分析療法		
第8回	カウンセリングと心理アセスメント(1): 知能検査		

第9回	カウンセリングと心理アセスメント(2)：性格検査
第10回	カウンセリングと心理アセスメント(3)：職業適性検査
第11回	カウンセリングとサポート活動
第12回	ソーシャルサポートとは何か：理論的導入
第13回	ソーシャルサポートと発達
第14回	学校・家庭場面におけるカウンセリングとソーシャルサポート
第15回	カウンセリングとソーシャルサポートの抑制要因
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587036902	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (教育相談)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	内野 成美		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	内野 成美		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	内野 成美		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soudan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後に講義室で受付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標 / Goal	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義・演習(個人及びグループ)		
授業内容 / Class outline/Con	第1回 教育相談の意義について学ぶ 第2回 教育相談と生徒指導の領域について学ぶ 第3回 カウンセリングの基本技法について学ぶ 第4回 カウンセリングの基本技法を体験する 第5回 児童生徒の問題行動等の現状についての理解 第6回 不登校児童生徒への理解について学ぶ 第7回 不登校児童生徒への対応について学ぶ 第8回 発達障害の児童生徒への理解について学ぶ 第9回 発達障害の児童生徒への対応について学ぶ 第10回 いじめ問題について学ぶ 第11回 いじめ問題を事例をもとに理解する 第12回 学級崩壊への理解と対応 第13回 危機介入について学ぶ 第14回 学級集団への援助の方法について学ぶ 第15回 学級集団への援助の方法を体験する 第16回 授業の総括(まとめ、試験を含む)		
キーワード / Key word	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(40%) 授業ごとのレポート(45%) 授業への参加度・貢献度(15%) 合計60%以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
学生へのメッセージ / Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587037301	科目番号 / Subject code	05870373
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (文学と社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀井 健一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀井 健一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀井 健一		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	14 - A4「教育と社会」2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	pericles_kh@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館 6階 6 1 1 番研究室		
担当教員TEL/Tel	pericles_kh@yahoo.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日午後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>主題は西洋の古代ギリシアの歴史です。教養としての古代ギリシアの社会についての知識を学びます。外国の歴史を学ぶのは外国語文献を読むことから始まりますから、皆さんには英語の絵本のようなものを翻訳してもらいます。その作業によって「知ること」に対する態度を養います。翻訳で内容を理解した上で古代ギリシアの社会の特徴を学びます。そこから現代社会にまで現存する文化の特徴を学びます。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>西洋の古代ギリシアの歴史, 社会, 文化の特徴を説明できるようにする ( , , , A, B, D)。英語による歴史叙述を読んで理解することができる ( , , )。英語による歴史叙述の内容を日本語で伝達できるようにする ( , , , D)。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>英文翻訳の予習, 翻訳文の完成のためのグループディスカッション, 古代ギリシア社会の考察を行ないます。LACSの利用を予定しています。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>S. Peach &amp; A. Millard, The Greeks, Tulsa, 1990のイラスト世界史のシリーズ本を題材に使います。あらかじめ課題プリントを配布するので翻訳と下調べの予習をしてもらいます。予習の内容を講義時にグループディスカッションしたりクラスで発表してもらいます。5つの主題についてレポートを提出してもらいます。</p> <p>第1回 ガイダンス  第2回 Social structure ~ 翻訳の検討  第3回 社会階層のまとめ  第4回 Democracy in Athens ~ 翻訳の検討 1  第5回 Democracy in Athens ~ 翻訳の検討 2  第6回 アテネ民主政のまとめ 1  第7回 アテネ民主政のまとめ 2  第8回 Sculpture ~ 翻訳の検討  第9回 ギリシア彫刻の特徴  第10回 The theatre ~ 翻訳の検討  第11回 ギリシア劇の特徴 1  第12回 ギリシア劇の特徴 2  第13回 Learnig ~ 翻訳の検討  第14回 小テスト, 学問のまとめ  第15回 古代ギリシア社会についてディスカッション</p>		
キーワード/Key word	西洋史, 古代社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書: P. レベック 『ギリシア文明 神話から都市国家へ』 創元社。参考書: 伊藤貞夫 『古代ギリシアの歴史』 講談社, 山本茂他 『西洋の歴史 [古代・中世編]』 ミネルヴァ書房, N. スパイヴィ 『ギリシア美術』 岩波書店。</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	古代ギリシアに関する教養的知識の小テスト (40%), レポート (50%), 予習・復習などの授業課題への良い取り組み (10%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし, やむを得ず (正当な理由で) 欠席する場合は, 単元に応じた個別指導を行なう。授業外学習に週平均2時間以上を充てること。		
学生へのメッセージ/Message for students	初回に予習の仕方について案内文書を通じて示すので, それに従って予習をすること。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587037701	科目番号 / Subject code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (身のまわりの科学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大庭 伸也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大庭 伸也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大庭 伸也		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ooba@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館412号室		
担当教員TEL/Tel	内) 2393		
担当教員オフィスアワー/Office hours	部屋にいるときはいつでも		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	我々ヒトを含む動物が地球上に誕生してから現在に至るまでのプロセスを理解する。また、動物の多様な種類、形態、行動、生活史、生態が如何にして形作られてきたのかを理解する。これらを理解することで、なぜ我々は学び続ける動物なのかを考える講義である。		
授業到達目標/Goal	進化的な視点で、ヒトを含む動物が現在の姿・形になった背景を説明できるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	スライドを中心に内容を説明する。スライドは授業後にLACSに上げるので、復習に活用してほしい。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	動物生態学、進化生態学、行動生態学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	講義の際に資料を配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間試験、最終試験、授業への参加状況を基に総合的に判断		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロ：動物の種類		
第2回	地球の歴史と生物の誕生まで		
第3回	進化論		
第4回	種分化のメカニズム		
第5回	環境へのさまざまな適応		
第6回	個体群、生活史、性の進化		
第7回	種内と種間の関係		
第8回	動物のコミュニケーション		
第9回	捕食者・被食者の関係と共進化		
第10回	配偶システムと性選択		
第11回	雄と雌の共進化・性的対立		
第12回	動物の親による子の保護		
第13回	社会性動物の進化		
第14回	社会性動物の進化		
第15回	ヒトの進化、歴史、これから		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587038101	科目番号 / Subject code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (芸術)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	菅野 弘之		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	菅野 弘之		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	菅野 弘之		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kankan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 美術技術教室 2F 212		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前期 金曜 12:00 ~ 12:30 (事前にメールでの予約が必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	美術における喜びや感動を感じる。 感じたことを表現する喜びを学ぶ。		
授業到達目標/Goal	日常生活(社会)に潜む芸術について説明や表現ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	表現と鑑賞領域の2つを基に、実技(制作)と鑑賞を通して授業を行う。実技については個別制作 共同制作を実施		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	工芸・美術		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	各自が準備するもの 切り出し(カッターナイフは不可)、新聞紙、竹トンボの教材(授業時に説明) デジカメ。教科書は使用しない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	5分の4以上の出席者を評価の対象とする。提出物(作品やレポート等)60%、受講の姿勢 40%		
受講要件(履修条件)/Requirements	実技を実施するので定員は40名以内		
学生へのメッセージ/Message for students	事前学習を含め、作品制作のための材料・道具の準備が確実にできること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	生活に潜む造形について		
第2回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす 映画鑑賞を含むので2と3は同じ映画の鑑賞		
第3回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす 映画鑑賞を含むので2と3は同じ映画の鑑賞		
第4回	2鑑賞 3鑑賞について ディスカッションと発表		
第5回	鑑賞 映画に潜む造形をより深く探求する 映画鑑賞を含むので5と6は同じ映画の鑑賞		
第6回	鑑賞 映画に潜む造形をより深く探求する 映画鑑賞を含むので5と6は同じ映画の鑑賞		
第7回	5鑑賞 6鑑賞について ディスカッションと発表		
第8回	竹トンボ(1) アイデアスケッチ&飛ぶための要点		
第9回	竹トンボ(2) 道具を使っての制作 手で考える		
第10回	竹トンボ(3) 道具を使って制作 素材を考える		
第11回	竹トンボ(4) 道具を使って制作 道具の使い方を再考する		

第12回	竹トンボ(5) 道具を使って制作 まとめ
第13回	竹トンボ(6) 鑑賞と講評 ー飛ばしてみてー
第14回	ペイント・マッチ
第15回	発表とまとめ・レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587038501	科目番号 / Subject code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教育と社会 (環境と社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	星野 由雅		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	星野 由雅		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	星野 由雅		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部4階 415研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日以外の昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因がどのように環境や人間に影響を与えているのかを学習し、学校教育の中で、それをどのように扱って行けば良いのかを考える。また、ドイツおよびネパールの環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。		
授業到達目標/Goal	環境と社会と関わりについて、基本的な知識と理解度を高めると共に、現代社会の中で環境要因が具体的にどのように環境や人間に影響を与え、社会がそれをどのように扱って行けば良いのかを多角的に調べ、環境と社会との関わりのあるべき姿について自らの意見を述べる事ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	受講者自らが課題を設定し、その課題を解決するために、教科書、配布資料、参考書等で学習するとともに、課題と課題解決のために学習した内容をレポートとし、発表する。また、学習した内容に応じてプレゼンテーションを学生自らが行う。授業中に学習内容の定着度を図る目的で小テストを数回課す。授業中に適宜調べ学習も行なう。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	環境基本法、環境基準、化学物質のリスク、ドイツの環境事情、環境教育		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書1: 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書2: 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 暮らしの安全科学」共立出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の小テスト、課題レポート、発表、定期考査を行って評価する。評価割合は、定期考査50%、授業中の小テスト20%、課題レポート20%、発表10%とし、総合点で評価する。合格基準は、総合点で60%以上とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	定員を80名までとします。		
学生へのメッセージ/Message for students	他の班のプレゼンテーションにおいても、積極的に質問、意見を述べること。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題(事項と内容)を指示する。【課題:個人レポート】		
第2回	班に分かれて、各受講者ごとに挙げた環境問題を選定した理由を班員に説明する。次に、挙げた環境問題の内容を理解するために必要な学習事項(法規や関連事項)を挙げる課題を指示する。受講者から質問があれば、学習事項の例とその内容について説明する。【課題:個人レポート】		
第3回	班に分かれて、各受講者ごとに学習事項(法規や関連事項)を発表し、班員全員が必須と考える学習事項を選定する。班ごとに必須となった学習事項を理由と共に発表する。クラス全体での必須学習事項を受講者間の議論により選定する。必須学習事項について各受講者が学習してくる。(特別講師:横尾美智代)【課題:個人レポート】		
第4回	班ごとに必須学習事項について学習してきた内容を班内で各受講者が発表を行う。班内でテーマを1つに選定し、その内容についてクラス全体にわかるように説明するための準備を行う。		
第5回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(1) 教員による補足説明。		
第6回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(2) 教員による補足説明。		
第7回	前回と前々回の授業で取り上げた必須学習事項に関する小テスト 各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(3) 教員による補足説明。		



第8回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(4) 教員による補足説明。
第9回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(5) 教員による補足説明。
第10回	前回と前々回の授業で取り上げた必須学習事項に関する小テスト 各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(6) 教員による補足説明。
第11回	各班ごとに必須学習事項1つについて、発表(7) 教員による補足説明。
第12回	前回と前々回の授業で取り上げた必須学習事項に関する小テスト 小テストの解説。 各受講生が課題とした法規、環境と社会との関わりを示した具体例の説明レポートの作成を指示。 【課題：個人レポート】
第13回	班に分かれて、各受講生が作成した説明レポートを班内で発表。その後、班の代表者がクラス全体 に対して説明レポートを基に発表。
第14回	班に分かれて、各受講生が作成した説明レポートを班内で発表。その後、班の代表者がクラス全体 に対して説明レポートを基に発表。
第15回	班に分かれて、各受講生が作成した説明レポートを班内で発表。その後、班の代表者がクラス全体 に対して説明レポートを基に発表。
第16回	定期試験